サポート情報記事

確認ログの整合性を検証する方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

チェックを準備する 4

検証を実行する 4

結果を解釈する 5

保護の制限を理解する 5

失敗を調査する 6

整合性チェックは確認レコードのハッシュを再計算し、先行レコードへのリンクを検証します。読み込まれた証跡チェーンの不整合を検出するのに役立ちます。必要なすべてのイベントが存在すること、従業員がポリシーを理解したこと、現在のソースが公開バージョンに一致することは確定しません。

チェックを準備する

確認リストを読み取り、製品設定と監査ログを更新できる管理者アカウントを使用します。監査担当者にもダッシュボードが見える場合がありますが、チェックは結果を保存して監査イベントを書くため、読み取り専用アクセスではレコードの検査後にエラーになる場合があります。

破損が疑われる状況を調査する場合、変更前に関連するレコードと識別子を保持します。緑の結果を得るために証跡を編集したり、ハッシュをリセットしたり、レコードを削除したりしないでください。確認を書き込むサービスがある場合は、その所有者とチェックを調整します。

検証を実行する

1 目的のハブでCompliance Dashboardを開きます。
2 証跡整合性パネルを探します。
3 最後に保存された結果、レコード数、チェック時刻を確認します。古い結果は、新しく追加されたレコードに対する現在の保証ではありません。
4 今すぐ確認を選択し、操作が完了するまで待ちます。
5 新しい結果とタイムスタンプを記録し、最初の破損レコード識別子が報告された場合はそれも記録します。

チェックはレコードIDの昇順で確認ログを読み込みます。各レコードのハッシュを再計算し、保存された前のハッシュへのリンクを先行レコードのハッシュと比較します。対象はそのハブのログであり、ダッシュボードのフィルターで現在表示している部門やポリシーだけではありません。



保存された整合性チェック結果を確認する

結果を解釈する

結果	意味
未検証	保存された検証結果がありません。
正常	このチェックで読み込まれたレコードのハッシュと先行リンクが一致しました。
失敗	ハッシュまたは前へのリンクの不一致が見つかり、最初に影響を受けたレコードが特定されます。
操作エラー	読み取り、計算、結果保存の操作が失敗しました。正常なチェックが完了したとは扱わないでください。

表示レコード数は読み込まれたログのサイズです。最初の不一致でループが止まる場合、その数を、以降の全レコードが個別に検証された証拠と解釈すべきではありません。空のログは整合性計算に合格できますが、確認が存在することは証明しません。

保護の制限を理解する

チェーンは、変更されたレコードや、後続がまだ参照している中間レコードの欠落を明らかにできます。独立して保持された信頼できる終端値がない場合、ログ末尾の削除やチェーン全体の置き換えは、この比較だけでは必ずしも検出できません。同時の直接書き込みもチェーンの不整合を生む場合があり、直ちに悪意ある編集と決めつけず調査する必要があります。

警告

変更・削除されたレコードがないことを証明するというUIの短い文言は、このチェックの保証範囲より広いものです。緑の結果は読み込まれたデータのチェーン整合性であり、絶対的な不変性、完全性、法的有効性、従業員に表示された正確なソース内容の証明ではありません。有効な権限と記録モードは引き続き重要です。KB10509. Policy Acknowledgementのデータ保存：DirectモードとServiceモードを参照してください。

失敗を調査する

最初に報告されたレコードID、前のレコード、ハッシュ、チェック時刻、最近のワークフロー活動を保持します。管理者とともに関連する監査イベントとサービスエラーを確認します。保存されたハッシュを手動で置き換えてチェーンを修復しないでください。原因が不明な場合は、識別子と機密情報を除いたエラー詳細をサポートに伝え、元の証跡を調査用に利用できる状態に保ちます。一部のレコードを残す可能性のある記録失敗についてはKB10538. 確認の失敗と通知が届かない問題を解決するを参照してください。